

知って備える 防災メモ

第51回



災害に、より早く対応するために

災害は、いつ発生するかわからないため、日頃から防災情報をどのように取得して、どこに避難すればよいか確認しておきましょう。

●登別市防災マップのほりべつ 防災タウンページ

災害発生時に危険となる場所や避難場所の位置を示した地図を掲載しています。家族や地域の皆さんと確認し合い、災害に備えてください。



※登別市防災マップなどは、発行時に市内全戸に配布したほか、転入された方にも配布しています。

●屋外スピーカーの放送

緊急地震速報、大津波警報などの特別警報や気象警報、避難勧告等が発表・発令された場合、市内62カ所に設置している屋外スピーカーから音声やサイレンが放送・吹鳴されます。聞き逃した際は、専用ダイヤル(☎⁸⁵0193)へ電話をすると内容を確認できます。

※幌別ダムの放流などのお知らせは電話応答装置では確認できませんのでご注意ください。

▼問い合わせ

総務グループ(☎⁸⁵1130)

登別市防災メール

大雨や暴風などの気象警報、外部からの武力攻撃やテロがあった際に注意を呼びかける情報などを迅速かつ正確に配信できるよう、平成27年4月から市の防災情報メール配信サービスを開始しました。

・登録方法

次の2次元バーコードを読み取るか、専用ホームページ(<https://service.sugumail.com/noboribetsu/>)から電子メールを送信し、返信されたメールの指示に従って登録してください。



人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

あみものサークル

『あみものサークル』は、平成13年4月に発足しました。現在、会員は60代から70代までの女性12人。毎月第1・3・4水曜日の9時から12時まで、若草つどいセンターで活動しています。

「ベストやマフラー、ペットボトルカバーなどさまざまな作品を制作しています。自分で編むことで好きな色の糸やデザインを選ぶことができますし、出来上がりを想像しながら編むことがとても楽しいです」と話すのは、代表の渋谷酸さん。

「同じ太さの糸と針で同じ作品を編んでも、編む人の手の力や糸の引き方などによって出来る作品の大きさが違うこと



▲夢中で編み物をするメンバー

があります。機械のように均一に編むのは至難の業ですが、そこにそれぞれの個性が生まれることが手編みの面白さですね」と、渋谷さんは編み物の魅力を話します。

昨年の11月から同サークルで活動している吉田さんは、「家で過ごすだけでなく、外に出て何か新しいことをやってみよう」と思い入会しました。孫に帽子を作ってプレゼントすると、とても喜んでくれたのでうれしかったですね。和やかな雰囲気の中でリラックスしながら、楽しく活動しています」と話してくれました。

初心者も大歓迎の同サークル。見学や活動に関する問い合わせは、若草つどいセンター(☎⁸⁶1205)まで。

作品を編んでいる時間を皆で思い切り楽しんでいます